

2022年9月15日 全8頁

## Indicators Update

# 2022年8月貿易統計

対中輸出の回復が鈍く貿易赤字は過去最大に

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2022年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+22.1%と18カ月連続で増加した。季節調整値では前月比▲0.7%と11カ月ぶりに減少した。自動車輸出は回復しているが、欧州向け輸出の一服や中国向け輸出の回復の鈍さが重しとなった。輸入金額は前年比+49.9%と大幅に増加した。貿易収支は▲2兆8,173億円、季節調整値では▲2兆3,713億円と、いずれも統計を遡れる中で最大の赤字幅となった。
- 8月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.3%と4カ月ぶりに減少した。このところ高水準にあった欧州・アジア向けの半導体等製造装置や集積回路（IC）が一服した。地域別に見ると、EU向け（同▲15.5%）やアジア向け（同▲6.6%）が減少し、米国向け（同+13.3%）は増加に転じた。
- 先行きの輸出数量は増加基調を辿るとみている。中国経済の正常化の進展や半導体不足の緩和が好材料となるほか、足元ではコンテナ運賃が下落しており、物流の混乱に収束の兆しが見られる。先行きは供給制約の緩和が輸出を後押しするだろう。他方、米欧での景気後退や中国の「ゼロコロナ」政策の動向が引き続き懸念材料となろう。

## 【貿易金額】 輸入価格は一服も輸出数量の不振で貿易赤字が拡大

2022年8月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+22.1%と18カ月連続で増加したが、コンセンサス（同+24.1%）を下回った（**図表1**）。季節調整値では前月比▲0.7%と11カ月ぶりに減少し、輸出数量（大和総研による季節調整値）も減少した（**図表2左**）。当月の輸出の減少は外需要因によるところが大きいとみられる。このところ高水準にあった欧州向け輸出が一服したほか、中国向け輸出の回復が想定よりも鈍いことが要因だ。とはいえ、肝心の自動車輸出は順調に回復しており、半導体不足や物流の混乱などのボトルネックの解消が進んでいることが示された。

輸入金額は前年比+49.9%と大幅に増加した。エネルギー価格の高騰や円安による輸入インフレを背景に3カ月連続で10兆円を上回った。品目別では、原油及び粗油や石炭、液化天然ガスなどが押し上げた。輸入金額を季節調整値で見ると、前月比+1.5%と8カ月連続で増加した。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）は同+1.7%と増加に転じた。他方、輸入価格（同）は同▲0.2%と11カ月ぶりに低下に転じた（**図表2右**）。

これを受け、貿易収支は▲2兆8,173億円と13カ月連続の赤字となり、比較可能な1979年1月以降で最大の赤字幅となった。季節調整値では▲2兆3,713億円と、こちらも統計を遡れる2012年9月以降で最大の赤字幅だ（**図表3**）。8月は輸入価格指数の上昇が一服したものの、中国向け輸出の回復が鈍い中で依然として貿易赤字の縮小が見込みにくい状況だ。

図表1：貿易統計の概況

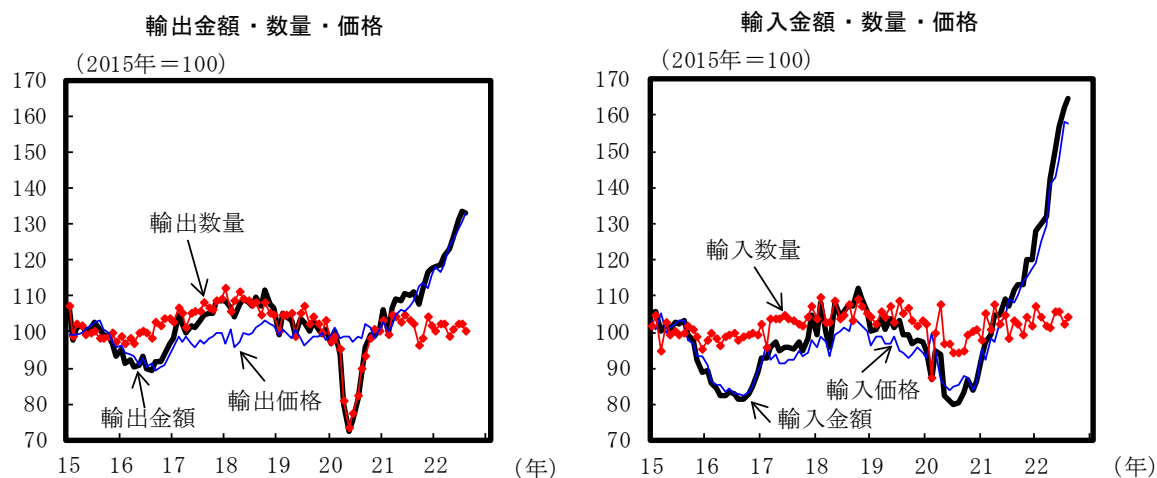
		2021年		2022年						
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原系列 前年比 %	輸出金額	17.5	9.6	19.1	14.7	12.5	15.8	19.3	19.0	22.1
	コンセンサス									24.1
	DIRエコノミスト予想									25.6
	輸入金額	41.2	38.8	34.2	31.4	28.4	49.0	46.2	47.2	49.9
	輸出数量	2.0	▲4.0	2.7	▲1.4	▲4.4	▲3.5	▲1.5	▲1.9	▲1.2
	価格	15.2	14.1	15.9	16.3	17.7	20.0	21.1	21.3	23.5
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	1.0	4.8	▲0.9	0.0	▲9.0	4.7	1.3	2.3	2.8
	価格	39.8	32.4	35.3	31.4	41.1	42.3	44.3	44.0	45.9
	貿易収支(億円)	▲5,889	▲21,994	▲6,772	▲4,240	▲8,538	▲23,906	▲14,042	▲14,339	▲28,173
	輸出金額	0.7	0.7	0.4	1.8	1.6	2.6	3.9	2.1	▲0.7
	数量	▲2.2	▲1.3	1.6	0.0	▲3.0	1.7	1.5	0.3	▲2.3
	価格	3.0	2.0	▲1.2	1.8	4.8	0.8	2.4	1.8	1.7
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲0.2	6.6	1.9	1.2	8.2	5.8	3.8	3.5	1.5
	数量	▲2.3	5.4	▲3.0	▲2.4	▲0.5	4.4	0.3	▲3.2	1.7
	価格	2.1	1.1	5.0	3.7	8.7	1.3	3.5	7.0	▲0.2
	貿易収支(億円)	▲4,281	▲8,949	▲10,206	▲9,858	▲15,685	▲19,102	▲19,690	▲21,556	▲23,713
	税関長公示レート	113.95	114.82	114.84	115.86	122.84	129.17	130.35	136.05	135.08

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

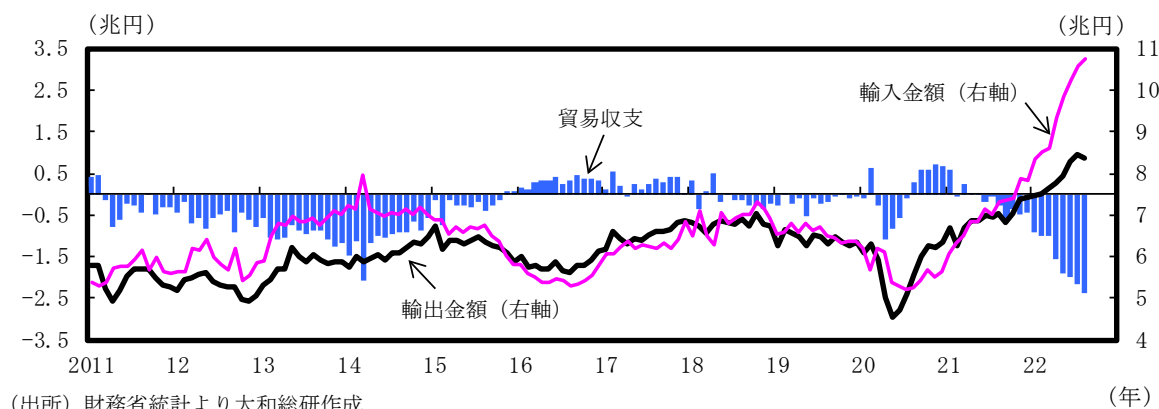
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



## 【輸出数量】自動車輸出は回復も対欧・対アジア輸出の減少が相殺

8月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.3%と4カ月ぶりに減少した。このところ高水準にあった欧州・アジア向けの半導体等製造装置や集積回路（IC）が一服した。電算機類の部分品も減少しており、中国などにおけるPCやスマートフォンの需要減を背景に関連品目の輸出が減少したとみられる。

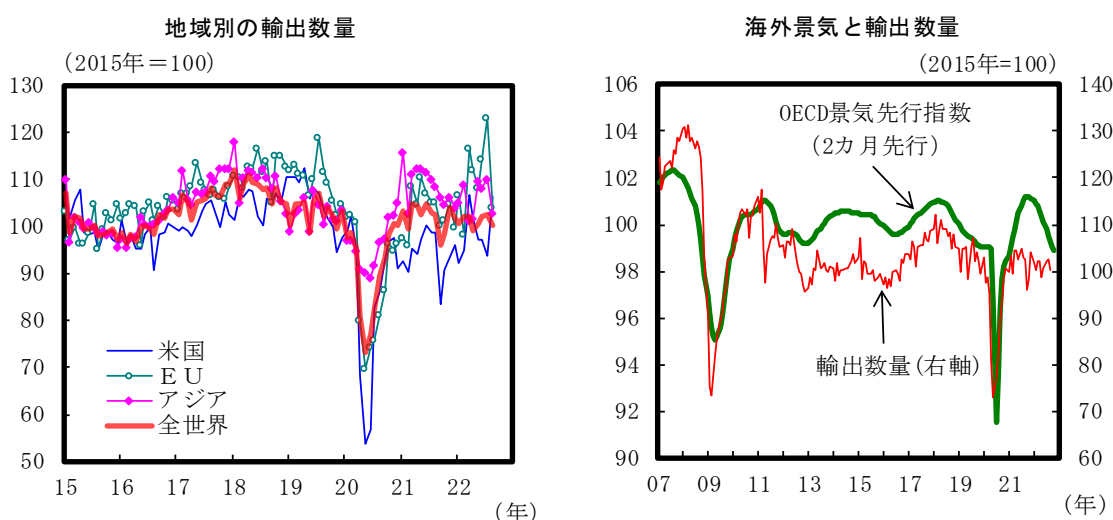
地域別に見ると、EU向け（前月比▲15.5%）やアジア向け（同▲6.6%）が減少した一方、米国向け（同+13.3%）は増加に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。自動車や同部分品、エンジンを含む原動機などの自動車関連財のほか、電算機類（含周辺機器）の回復が進んだ。半導体不足の緩和の好影響が出始めているとみられる。また、前月に不振だった鉄鋼やベアリングなどの中間財も持ち直した。半導体等製造装置も前月に引き続き増加したが、増加幅は前月から縮小した。

EU向けは3カ月ぶりに減少した。2022年前半にかけて急増していた半導体等製造装置や鉄鋼が一服したことで、輸出数量全体はこのところの増加分を解消した。半導体不足に対する急ピッチの対応が一段落したとみられる。また、電算機類や同部分品も全体を押し下げた。他方、医薬品や二輪自動車の輸出が高水準を維持したほか、自動車輸出は小幅に回復した。

アジア向けは2カ月ぶりに減少した。中国向け輸出の回復が鈍く、とりわけ半導体等製造装置や集積回路、自動車の部分品が全体を押し下げた。アジア向け全体で見ると、鉄鋼や非鉄金属、プラスチックなどの中間財輸出も減少した。上海市などでのロックダウン（都市封鎖）による供給網の混乱を背景に、アジア各国の4-6月期のGDP統計では軒並み在庫が増加したことから、中間財の在庫調整によって日本からの輸出が減少したとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



## 【見通し】「中国経済の回復・供給制約の緩和 vs 米欧経済の悪化」の構図が続く

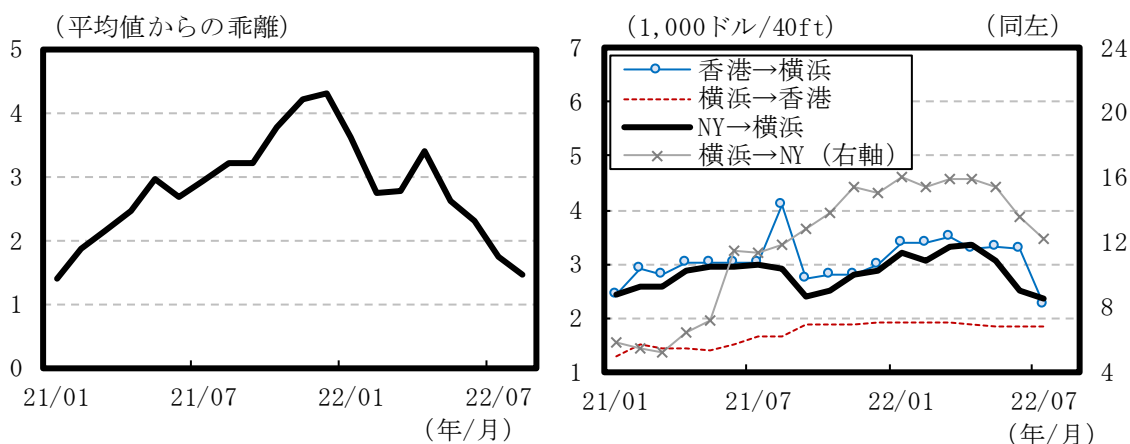
先行きの輸出数量は増加基調を辿るとみている。中国経済の正常化が進み、中国向けの自動車や中間財・資本財の輸出が増加するだろう。また、今秋にかけて半導体不足の緩和が進むことで自動車輸出の復調が続くとみている。さらに、足元では世界的に供給網の混乱が収束しつつある。NY 連銀が公表する供給網のひっ迫度を示す指数は5月から改善しており、コンテナ運賃も低下傾向にある（図表5）。先行きは供給制約の緩和が日本の輸出や生産を後押しするだろう。他方、米欧では景気後退リスクが高まっている。中国についても、「ゼロコロナ」政策の動向次第では再び日本からの輸出が急減する可能性には注意が必要だ。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは増勢が弱まるとみている。米国の8月の消費者物価指数（CPI）は前年比+8.3%と市場予想（同+8.1%）を上回っており、FRBはタイトな金融環境の維持を迫られるだろう。景気後退のリスクが高まる中、資本財や消費財など幅広い財の輸出が減少するとみている。なお、米国では2022年末以降に北米で最終組み立てされた電気自動車にのみ補助金を支給する「インフレーション抑制法」が成立した。当分先ではあるが、日本からの完成車の輸出にとっては悪材料となる可能性がある。

欧州向けは横ばい圏での推移を見込む。米国と同様に欧州でも景気後退リスクが高まっており、日本からの輸出は伸びにくいだろう。9月のECB理事会で0.75%ptの大幅利上げが決定されたことで、欧州では設備投資などが鈍化するおそれがある。また、ロシアとドイツをつなぐ天然ガスパイプライン「ノルドストリーム1」の稼働停止によるエネルギー不足が懸念されており、企業の生産活動などに影響が及ぶだろう。これらの懸念材料はいずれも企業の設備投資意欲を減退させるとみられ、欧州向けの柱である一般機械の輸出が伸び悩む可能性には注意が必要だ。

中国向けは回復が加速するとみている。10月16日の開幕が予定されている5年に1度の共産党大会に向け、経済対策などによる国内需要の回復が期待される。ただし、足元では新規感染者数が少ないながらもロックダウン（都市封鎖）に踏み切る都市が増加しており、引き続き「ゼロコロナ」政策の徹底による内需への影響には注意が必要だ。

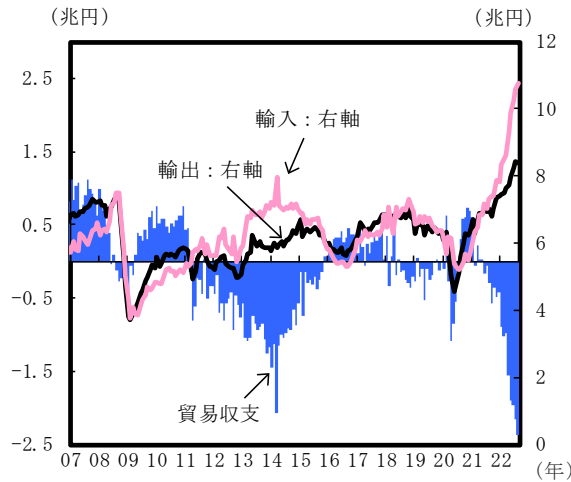
図表5：グローバルサプライチェーン圧力指数（左）、日本と米国・香港間のコンテナ運賃（右）



(出所) NY連銀、日本海事センターより大和総研作成

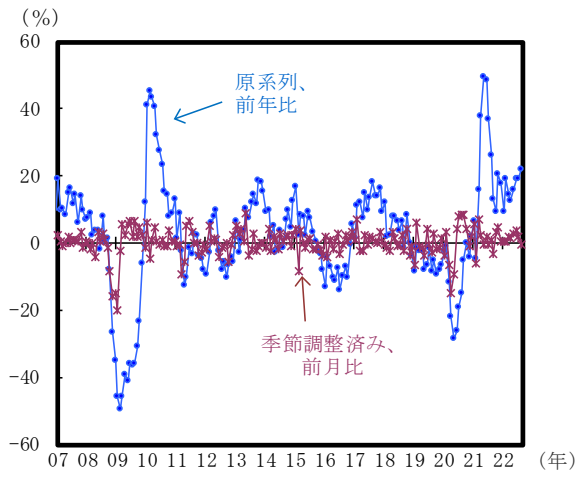
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

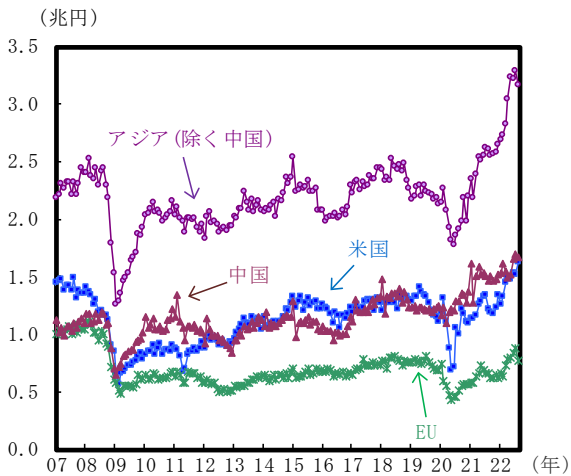


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

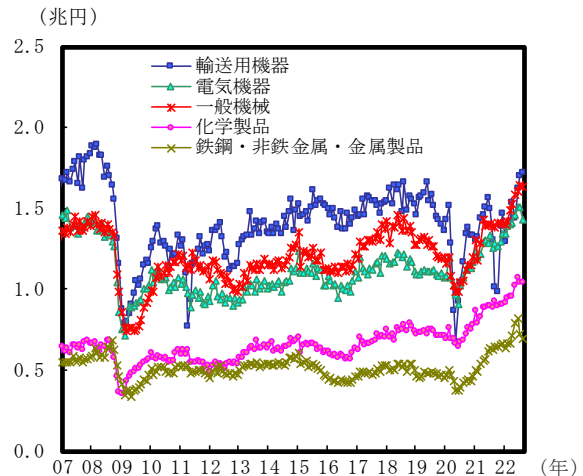


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

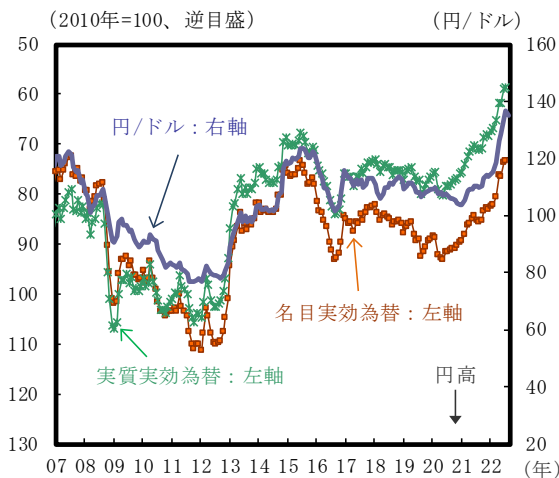


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

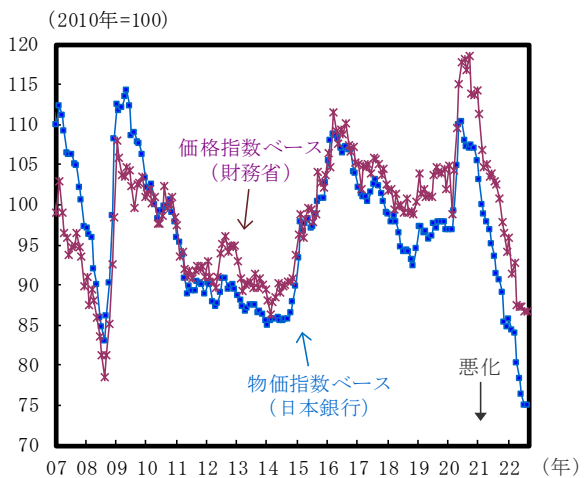


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	14.7	12.5	15.8	19.3	19.0	22.1	100.0	22.1
食料品	6.3	14.0	18.2	25.8	21.6	15.2	1.2	0.2
原料品	5.2	4.0	20.9	9.0	17.8	8.1	1.5	0.1
鉱物性燃料	90.5	132.0	404.8	341.5	142.3	171.5	3.2	2.4
化学製品	15.7	8.5	15.5	19.6	15.9	16.3	12.3	2.1
原料別製品	21.4	24.3	35.0	31.0	16.3	12.4	11.7	1.6
鉄鋼	38.8	37.1	60.2	44.2	13.0	11.2	4.8	0.6
非鉄金属	8.5	26.5	30.4	30.7	23.3	12.5	2.4	0.3
金属製品	8.7	7.9	4.4	5.0	4.6	4.3	1.3	0.1
一般機械	15.8	6.6	13.3	14.3	17.3	17.0	18.9	3.4
電気機器	15.6	8.7	11.1	17.1	13.8	12.9	17.3	2.4
半導体等電子部品	16.0	9.6	21.1	29.6	20.8	8.9	5.5	0.6
I C	16.4	8.7	25.8	41.2	24.8	8.9	3.8	0.4
映像機器	85.4	69.0	58.8	132.4	134.5			
映像記録・再生機器	▲0.9	▲3.7	▲0.5	63.1	58.3	39.2	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	13.0	▲21.6	7.7	▲16.9	▲35.4	▲8.3	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	10.5	7.9	4.3	10.2	14.2	13.2	2.4	0.3
輸送用機器	▲1.2	4.9	▲5.3	3.4	14.6	30.8	18.7	5.4
自動車	▲5.2	4.8	▲7.9	0.4	13.7	39.3	12.6	4.3
自動車の部分品	11.8	2.9	0.5	1.8	0.8	13.4	3.9	0.6
その他	27.1	25.7	19.5	27.6	30.8	31.5	15.3	4.5
科学光学機器	0.5	5.7	▲2.4	12.2	22.0	15.0	2.7	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	23.8	17.5	13.6	15.7	14.1	33.8	100.0	33.8
食料品	63.2	39.1	31.6	34.9	15.5	1.6	0.9	0.0
原料品	3.4	18.3	77.3	26.8	0.4	17.5	0.7	0.1
鉱物性燃料	1007.5	228.7	1455.2	659.8	104.9	115.1	1.8	1.3
化学製品	67.1	20.5	49.4	58.0	18.5	61.0	9.3	4.7
原料別製品	39.9	43.3	37.5	45.4	21.5	40.0	7.1	2.7
鉄鋼	91.8	87.0	24.4	128.1	19.3	118.8	1.8	1.3
非鉄金属	21.8	57.3	78.3	61.5	53.0	85.6	1.0	0.6
金属製品	22.9	12.4	6.7	1.0	4.2	7.9	1.4	0.1
一般機械	37.2	23.3	26.1	19.6	23.9	28.2	24.2	7.1
電気機器	25.9	8.7	1.2	8.6	▲0.3	18.1	13.4	2.8
半導体等電子部品	3.4	19.0	12.5	2.9	8.2	9.6	1.4	0.2
I C	▲4.6	10.9	25.8	20.2	17.1	14.7	0.6	0.1
映像機器	23.6	▲11.3	▲23.3	29.9	36.3			
映像記録・再生機器	21.9	▲14.0	▲19.0	39.3	33.8	14.2	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	31.4	▲62.2	▲1.6	5.1	▲84.7	▲60.5	0.1	▲0.2
電気回路等の機器	2.1	4.0	▲3.1	11.9	9.5	19.0	1.3	0.3
輸送用機器	▲5.4	9.3	▲13.8	0.3	6.8	38.5	30.1	11.2
自動車	▲16.7	10.9	▲15.6	▲0.7	8.4	34.6	21.5	7.4
自動車の部分品	41.7	5.7	1.0	8.4	▲2.7	44.5	6.5	2.7
その他	40.5	17.6	5.4	2.1	24.1	29.6	12.5	3.8
科学光学機器	20.3	31.6	17.0	16.5	32.3	32.2	2.8	0.9

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	16.8	19.2	10.5	22.2	31.7	16.7	100.0	16.7
食料品	46.2	32.0	18.2	27.9	1.7	▲19.0	0.5	▲0.1
原料品	22.1	24.4	5.0	27.3	50.7	27.9	1.1	0.3
鉱物性燃料	170.2	344.9	229.3	65.3	192.8	▲61.9	0.1	▲0.3
化学製品	23.8	15.1	7.2	18.3	32.5	32.5	13.7	3.9
原料別製品	34.1	44.6	61.5	44.4	25.0	▲15.4	7.2	▲1.5
鉄鋼	66.5	188.9	196.3	116.0	2.9	▲61.3	1.3	▲2.4
非鉄金属	17.2	23.4	37.2	30.3	67.3	31.4	1.1	0.3
金属製品	14.4	10.4	2.6	▲0.8	12.5	1.3	1.4	0.0
一般機械	31.7	33.8	18.4	11.4	27.2	14.0	23.0	3.3
電気機器	6.2	7.5	4.8	15.3	20.4	5.7	16.7	1.0
半導体等電子部品	14.5	15.2	20.3	22.7	18.7	11.7	2.3	0.3
I C	21.8	12.8	33.2	34.4	30.4	10.4	0.9	0.1
映像機器	▲6.0	11.1	32.6	132.0	143.0			
映像記録・再生機器	▲24.3	▲12.1	40.5	122.9	114.1	102.6	0.8	0.5
音響・映像機器の部分品	11.5	▲21.8	▲6.6	▲23.0	12.9	▲4.5	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	15.3	11.2	8.9	7.8	22.6	11.5	1.7	0.2
輸送用機器	▲1.0	▲1.2	▲10.3	21.1	44.4	37.8	23.3	7.5
自動車	▲19.0	▲0.9	▲7.0	34.0	77.0	76.2	14.6	7.4
自動車の部分品	▲3.0	▲4.5	1.9	▲7.9	▲2.8	▲9.4	5.1	▲0.6
その他	19.9	31.0	9.5	41.5	36.5	18.7	14.3	2.6
科学光学機器	36.9	43.5	21.3	46.0	54.3	20.2	3.9	0.8

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.4	10.3	17.5	18.8	21.1	18.2	100.0	18.2
食料品	▲4.5	10.1	17.7	24.1	23.9	19.6	1.5	0.3
原料品	3.8	1.7	16.7	7.3	15.0	8.7	2.2	0.2
鉱物性燃料	64.4	86.3	224.0	158.5	191.2	297.5	3.1	2.8
化学製品	9.3	4.4	11.8	13.0	13.5	6.9	14.9	1.1
原料別製品	16.3	21.5	34.9	28.4	14.9	10.1	14.3	1.5
鉄鋼	34.3	28.2	59.6	35.9	13.4	10.5	6.1	0.7
非鉄金属	2.7	28.3	30.9	33.8	19.7	8.0	3.6	0.3
金属製品	5.1	6.2	3.4	8.2	6.3	4.8	1.4	0.1
一般機械	6.4	▲4.8	5.1	11.4	14.7	12.4	17.6	2.3
電気機器	15.7	9.9	14.3	19.4	16.6	12.9	21.5	2.9
半導体等電子部品	16.5	8.5	21.4	31.0	21.1	8.3	8.8	0.8
I C	16.9	8.1	25.7	41.8	24.7	8.4	6.4	0.6
映像機器	221.2	235.8	171.6	295.6	302.0			
映像記録・再生機器	0.1	10.8	▲1.4	60.0	60.5	47.6	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	▲3.0	▲16.7	▲1.4	▲20.7	▲11.1	2.5	0.3	0.0
電気回路等の機器	10.5	9.8	4.9	10.0	13.8	12.4	3.2	0.4
輸送用機器	1.3	7.5	▲6.7	▲5.0	30.3	27.4	7.2	1.8
自動車	0.8	▲5.2	▲14.2	▲17.8	21.0	43.7	4.0	1.5
自動車の部分品	7.6	14.3	3.4	6.0	10.3	9.9	2.5	0.3
その他	19.9	25.3	27.7	31.3	32.1	33.2	17.7	5.2
科学光学機器	▲12.5	▲8.4	▲12.9	3.8	12.1	7.5	2.9	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	2.9	▲5.9	▲0.2	7.4	12.8	13.5	100.0	13.5
食料品	20.9	24.1	28.7	23.2	41.8	38.9	1.5	0.5
原料品	▲5.1	▲4.2	16.5	17.7	45.7	35.0	2.2	0.7
鉱物性燃料	2.2	100.2	23.8	180.4	294.0	250.6	1.4	1.1
化学製品	4.3	▲1.1	10.1	10.4	11.0	4.9	16.9	0.9
原料別製品	4.3	4.7	19.0	11.7	8.0	8.2	12.1	1.0
鉄鋼	26.1	▲0.3	21.0	4.2	▲0.1	8.3	3.4	0.3
非鉄金属	▲19.4	12.3	24.1	23.2	14.7	13.1	4.2	0.6
金属製品	4.3	▲1.7	5.7	0.7	▲1.6	▲3.4	1.4	▲0.1
一般機械	▲4.6	▲25.7	▲10.4	1.1	8.7	8.8	20.6	1.9
電気機器	16.7	7.9	3.6	15.2	15.6	7.9	21.0	1.7
半導体等電子部品	10.5	▲1.0	4.1	37.8	21.2	▲13.9	5.6	▲1.0
I C	5.1	▲4.6	2.4	51.2	28.6	▲20.6	3.6	▲1.1
映像機器	301.9	301.9	223.7	406.2	418.0			
映像記録・再生機器	▲12.8	▲14.4	▲11.9	51.1	48.8	36.6	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲11.5	▲28.7	▲37.1	▲49.3	▲31.8	▲33.7	0.3	▲0.2
電気回路等の機器	15.0	11.0	▲4.4	6.9	14.5	13.5	3.6	0.5
輸送用機器	▲7.0	▲10.0	▲26.3	▲22.8	5.5	19.6	8.6	1.6
自動車	▲8.4	▲12.2	▲36.3	▲23.2	18.2	55.2	5.7	2.3
自動車の部分品	▲5.5	▲4.4	▲12.4	▲21.1	▲13.0	▲18.8	2.7	▲0.7
その他	0.4	▲8.4	▲7.2	12.4	10.6	29.9	15.7	4.1
科学光学機器	▲15.4	▲22.3	▲22.9	▲12.5	▲16.5	▲4.6	3.4	▲0.2

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成